

練馬区地域包括支援センター事業評価結果一覧表(平成28年度分)

資料 2

| 1 組織運営体制 | 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | |
|----------------------------------|---|---------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | |
| | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 |
| (1) 事業年度計画が明確に定められ、職員に共有されている。 | | | | | | | | | | |
| | ・事業計画策定に関し、センター内部での合意形成を行っているか。 ※センター内部で合意形成を行っていれば「適」 | 会議記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・事業計画は、職員の業務負担等を鑑み、実現可能な内容となっているか。 ※実現可能な内容となっていれば「適」 | 事業計画書等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・事業計画の内容およびスケジュールが具体的に定められているか。 ※いつまでに、何をするのか、事業計画書から判断できる程度に具体的であれば「適」 | 事業計画書等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・事業計画が職員に共有されているか。 ※原則としてアンケートが7割以上「共有されていた」「どちらかと言えば共有されていた」で「適」 | 本所職員アンケート問1-2 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (2) 職員の適切な業務分担と資質向上のための取組を行っている。 | | | | | | | | | | |
| | ・職員の業務分担が適切に行われ、一部の職員に負荷がかかっていないか。 ※一部の職員に負荷がかからないように業務分担ができていれば「適」 | 本所職員アンケート問1-3 | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> |
| | ・職員の資質向上のための取組（職場内研修の実施、外部研修への参加等）が行われているか。 ※研修の実施、受講等が記録上確認できれば「適」 | 研修記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・研修等の内容を職場内で共有する仕組みがあり、実践されているか。 ※共有する仕組みがあり、記録上確認できれば「適」 | 研修記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (3) 圏域の支所との連携が取れている。 | | | | | | | | | | |
| | ・本所、支所間の情報伝達が正確かつタイムリーに行われているか。 ※原則としてアンケートが7割以上「行われている」「どちらかと言えば行われている」で「適」 | 支所職員アンケート問1-1 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・個別ケースに関する相談支援が適切に行っているか。 ※原則としてアンケートが7割以上「行っている」「どちらかと言えば行っている」で「適」 | 支所職員アンケート問1-2 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・困難なケースについて、支所と協働して対応を行っているか。 ※概ね適切に行われていることが確認できれば「適」 | 支所職員アンケート問1-3 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (4) 個人情報保護に対する取組が適切に行われている。 | | | | | | | | | | |
| | ・個人情報に関するルールが整備されているか。 ※個人情報に関するルールが書類上確認できれば「適」 | 個人情報保護規程等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・個人情報保護に関する職員への教育等が行われているか。 ※職員への教育等が記録上確認できれば「適」 | 研修記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・ルール上作成することとされている帳票類が確認できるか。 ※帳票類が確認できれば「適」 | 各種記録簿等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・個人情報保護の取組が実施されているかチェックする機会があるか。 ※チェックの取組が記録上確認できれば「適」 | 各種記録簿等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |

| 評価できる点 | | 改善が必要な点 | |
|--|--|---|---|
| 地域包括支援センター（自己評価） | 評価委員会（事業評価） | 地域包括支援センター（自己評価） | 評価委員会（事業評価） |
| <p>（練）①本所・支所間の連携については、本所支所連絡会等を通じた情報共有の充実を図るとともに、個別事例ごとの相談支援や協働した対応についても、相互に連携の充実を図ることができた。</p> <p>②個人情報保護に関する職員への教育等については、非常勤職員も含めた全ての職員に対し、Eラーニング等の研修受講が義務付けられ、全職員が受講を完了している。また、区内全センターへの個人情報保護やコンプライアンスの徹底に関する研修の実施にも取り組んだ。</p> <p>（光）①個人情報の取り扱いに関しての規程が決まっており、規程に則った行動を行うことで、個人情報保護が確実に実施できる体制・環境を整えている。</p> <p>②支所との連携について虐待対応や緊急時など介入早期から役割分担を実施し、対応している。また、支所会を毎月実施しているが、4所会の伝達だけでなく、平成30年度に向けての事業進行の話し合いや業務の問題点などを共有する場として活用し、区全体での協議が必要な場合はセンター長会へフィードバックするようにしている。</p> <p>（石）①事業計画作成の際、各担当別に前年度の計画目標達成等を確認しながら合意形成を図り計画書を作成することができた。</p> <p>②前年度の第三者評価改善点を参考に情報共有のための所内ルールづくりや、ファイリングスキルの向上を図ることとした。改善提案等を所内会議にて検討を行なうことで、各職員の意識を高めることができた。</p> <p>③個人情報保護への取り組みは各自が個人情報の取り扱いに細心の注意が図れるよう意識を高く持つため定期的に全職員で確認を行なった。また個人情報の紛失等の事故については意識的に情報共有を行った。</p> <p>（大）①各職員が参加した研修等について、共有方法について見直しを行った。毎朝の朝礼や職員会議等で報告し、研修資料についても回覧することで共有を行い、センター職員のスキルアップにつなげることができている。</p> <p>②本所・支所間の連携という面では、定期的な本所・支所連絡会や各職種の分科会を実施することで、情報共有や意見交換を行うことができている。また、総合事業の勉強会も定期的実施し、支所における介護予防ケアマネジメントの課題等についての共有や検討を行うことができた。</p> | <p>（練）①朝のミーティングの連絡事項について、記録がしっかりと取られており、情報共有の努力が確認できた。</p> <p>②支所職員アンケートの結果が良好であり、連携を図っていることが確認できた。</p> <p>③事業計画において各事業のスケジュールが詳細に記載されていた。</p> <p>（光）①組織運営体制としては、全体的に質の高い運営体制がとられており評価できる。</p> <p>②個人情報保護の取り扱いについては、法人の規程に則って適切に運営されている。</p> <p>③本所・支所間の連携を図るため、支所会において業務の問題点を共有するなど、積極的な取り組みが行われている。</p> <p>（石）①法人の研修計画に基づく職員研修の体制が充実していた。</p> <p>②前回評価を踏まえ各種マニュアルの見直しや情報共有のための所内ルールづくり、書類のファイリング等の改善が図られていた。</p> <p>③個人情報の管理については、細心の注意を図るとともに、全職員が適切に管理している姿勢が見受けられた。</p> <p>（大）①個人情報の管理等について、昨年指摘した点が全て改善されていた。</p> <p>②職員間のコミュニケーション、役割分担がスムーズにできていることが確認された。</p> <p>③支所との連携も行えており、一定の信頼が得られていることが確認できた。</p> <p>④各種帳票類およびエビデンス等の記録が適切に作成、保管されていた。</p> | <p>（練）職員の業務分担について、アンケート結果より一部の職員への負担が重くなっていることが確認されたため、至急の改善が必要である。</p> <p>（光）職員の適切な業務分担において、職員のキャリアの差があり、さらに介護予防ケアマネジメントに係る業務量が非常に多いため、一部職員の負担が大きくなっている。業務分担により一部職員の負担とならないようにしているが、虐待ケースが多い場合など一時的に負荷となってしまうことがある。</p> <p>（石）①一部専門職の研修や会議が増えたため、他の職員への負担が増え、時間外業務も増えてしまった。</p> <p>②前年度第三者事業評価の結果を踏まえ、改善を重ねたが、支所との関係性については、十分な改善には至らなかった。</p> <p>（大）①支所職員アンケートから、虐待のモニタリングなどが適切に行えていないとの意見があった。虐待対応についての一連の流れについて、あらためて支所職員とも確認する必要がある。</p> <p>②虐待のモニタリングについては支所との連携が不十分であるため、来年度に向けて確認が必要な状況となっている。</p> | <p>（練）①個々の職員のキャリアパスを鑑みて、センターとしてさらなる研修受講の充実や研修受講状況の実績管理が求められる。</p> <p>②事業計画については、一覧表等を活用して進捗状況を定期的に管理すべきである。</p> <p>（光）①個人情報受け渡しに関する帳簿類は準備されているが、記録漏れが確認されたため今後注意すべきである。</p> <p>②区の課題ではあるが、給付管理等の処理の効率化や職員2名以上に対して包括システム端末が1台の配備であることなどについて、改善が求められる。</p> <p>（石）①一部の職員に業務負担が重くなっていることが確認されたため、各職員の業務量の配分について改善が必要と思われる。</p> <p>②本所・支所間の連携について、改善に向けたさらなる分析の実施が求められる。</p> <p>（大）①ケアマネ連絡会や事例検討会に出ている圏域介護支援専門員等を把握し、新規の関係者が参加しやすい環境作りを進めてほしい。</p> <p>②地域ケア会議については、会議の質を高めるため、開催時期の早期の周知や、これまで参加のない他機関へも呼びかけを行うなど、さらなる充実を図ることが求められる。</p> |

| 2 総合相談支援業務 | 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | |
|--------------------------------|--|---------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | |
| | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 |
| (1) 個別ケースの対応を適切に行っている。 | | | | | | | | | | |
| | ・個別ケース毎に主担当を明確にしているか。 ※個別ケースの記録で主担当が分かるようになっていれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・個別ケースに関する職員間のミーティングを定期的に行っているか。 ※定期的にミーティングを行ってあれば「適」 | ミーティング記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・必要に応じて3職種が協働して相談、訪問を行うなどチームアプローチを行っているか。 ※チームアプローチを行っていることが記録上確認できれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・継続的な支援が必要な場合、支援方針を明確にしているか。 ※継続支援ケースで、支援方針を明確にしていることが記録上確認できれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (2) 相談内容および関係資料が適切に記録・保管されている。 | | | | | | | | | | |
| | ・相談等を受け付けた場合、遅くとも翌営業日には地域包括システムの相談記録に入力されているか。 ※原則としてアンケートで7割以上「入力している」「概ね入力している」で「適」 | 本所職員アンケート問2-3 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> |
| | ・紙媒体の記録資料の保管が適切に行われ、担当の職員ではなくても参照できるようになっているか。 ※記録資料保管ルールがあり、それが実施されていれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (3) 苦情対応に適切に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | |
| | ・センター自身に対して寄せられた苦情等に対するルールがあるか。 ※ルールが書類上確認できれば「適」 | マニュアル等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・ルールに基づき苦情等の対応がされているか。 ※ルールに基づいた苦情対応を行ってあれば「適」 | 苦情記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| | ・苦情等の再発防止に向けた取組がされているか。 ※再発防止に向けた取組を行ってあれば「適」 | 苦情記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |

| 評価できる点 | | 主な改善が必要な点 | |
|--|---|---|--|
| 地域包括支援センター（自己評価） | 評価委員会（事業評価） | 地域包括支援センター（自己評価） | 評価委員会（事業評価） |
| <p>（練）個別ケース対応については、多忙な業務環境の中、個々の事例に対し専門職が中心となったチームアプローチに積極的に取り組んでいる。また、事例検討会の充実や、職員間の情報共有の充実を図ることにより、地域包括支援センターとして求められる総合的な支援の充実や事例に応じた適切な支援対応に努めている。</p> <p>（光）苦情内容の共有について、苦情は宝として苦情の解決だけでなく、苦情の内容を分析し、対応方法も部署内で共有を行っている。法人全体ではリスクマネジメント委員会を開催し、法人のサービスの苦情対応について分析した内容を定期的に職員内で共有している。また、苦情調整委員会が発行している冊子の読み合わせを行って、苦情の分析力を高めるようにした。</p> <p>（石）苦情対応については、法人により規定された「苦情・事故対応管理規程」を所内会議にて内容を確認するとともに、状況に応じ個々の対応を確認している。また、個人でも常に管理規程の内容が確認ができるよう、小冊子にして各職員に一部ずつ配布している。</p> <p>（大）個別のケース対応については毎朝の朝礼時や適宜時間を作ることで、定期的に情報を共有しながら各職種が専門性を発揮し、支援を行うことができている。また、苦情対応については、職員面談の実施や、再発防止に向けた取組を行ったことで、センター内における対応の改善について検討ができ、各職員も自身の対応について見直す、良い機会となった。</p> | <p>（練）個別ケース対応について、コア・メンバー会議の定例化を含め、事例検討の充実が図られている。</p> <p>（光）相談対応について、相談を受けた内容が組織内で十分に情報共有されており、適切な体制が整っている。</p> <p>（石）法人の規定した苦情・事故管理規程の内容について、各職員に周知されるとともに、適切に運用されていることが確認できた。</p> <p>（大）苦情については、自己チェックリストやフローチャートの作成、職員面談の実施など、改善に向けた仕組みづくりが進んでいる。</p> | <p>（練）相談内容等の地域包括支援システムへの入力については、分担の見直し等により適切に入力できるよう改善を図ったが、さらなる改善が必要である。</p> <p>（光）事業評価では翌営業日までに記録を入力することとあるが、パソコンの配置が各職員のデスク上にないため、包括システムへの入力が遅れることがある。</p> <p>（石）個別ケースの相談は、原則紙媒体を印刷しないこととしている。そのための情報共有として、毎日始業時および終業時のミーティングを活用しているが、ミーティング記録を残せていない。各自が備忘録としてノート等を使用しているため、組織的に管理されるよう工夫が必要である。</p> <p>（大）苦情対応についてはフローチャート等の作成を行い実施しているものの、予防に向けた取組が不十分な状況である。また、練馬区の苦情調整委員等との連携も含め、苦情対応に関する資源の活用に取り組む必要がある。</p> | <p>（練）相談内容に記録については、システムへの入力を業務時間外ではなく、時間内に行えるようさらなる改善が求められる。</p> <p>（光）朝の所内ミーティングについて、記録が無く内容の確認ができなかった。不在であった職員にも情報共有できるよう、記録の作成が求められる。</p> <p>（石）始業時および終業時に行われている所内ミーティングについて、記録を作成していないことが確認された。情報共有を図るためにも、記録の作成が求められる。</p> <p>（大）業務改善に向けた工夫は確認できたが、時間外勤務が確認されたため、さらなる効率化が期待される。</p> |

| 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | | |
|---|---------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | | |
| | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | |
| 3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業、介護予防ケアマネジメント業務 | | | | | | | | | | |
| (1) 介護支援専門員のネットワーク構築を支援するとともに、資質の向上に取り組んでいる。 | | | | | | | | | | |
| ・圏域の主任介護支援専門員および介護支援専門員の連絡会または事例検討会を年6回以上開催しているか。 ※年6回以上開催していることが確認できれば「適」 | 連絡会記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・圏域の介護支援専門員に対する研修等を適切に行っているか。 ※実施した研修等について記録上確認できれば「適」 | 研修記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (2) 圏域の介護支援専門員に対し、適切な支援を行っている。 | | | | | | | | | | |
| ・圏域の介護支援専門員に対し、適切な相談対応を行っているか。 ※原則としてアンケートが7割以上「満足できた」「どちらかと言えば満足できた」で「適」 | 事業者アンケート問1-2 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・介護支援専門員の同行訪問、サービス担当者会議の支援を行っているか。 ※介護支援専門員の同行訪問またはサービス担当者会議の支援を行っていることが記録上確認できれば「適」 | 同行訪問記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・自立に向けたケアプランになっているかチェックできているか。 ※自立に向けたケアプランチェックを行うための取組が記録上確認できれば「適」 | ケアプランおよび関係書類等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 評価できる点 | | | | | 改善が必要な点 | | | | | |
| 地域包括支援センター（自己評価） | | 評価委員会（事業評価） | | | 地域包括支援センター（自己評価） | | 評価委員会（事業評価） | | | |
| <p>(練) 圏域の介護支援専門員への支援については、「けあまねりあ」を運営し、様々な研修や事例検討を実施している。また、センター本所・支所の主任介護支援専門員を中心に、地域の主任介護支援専門員が組織を作り、主任介護支援専門員がまず勉強し、学んだことを介護支援専門員に伝達するような形で勉強会を開催するなど、圏域の介護支援専門員への支援に積極的に取り組んでいる。</p> <p>(光) 地域の介護支援専門員とともに、地域全体でのボトムアップを狙い「けあまねひろばひかり」を運営している。キャリアのある介護支援専門員と新人の介護支援専門員がともに成長できる場として、企画を行っている。介護支援専門員の主体的な活動につながるよう支援を継続したい。</p> <p>(石) 実施したケアマネジメント給付検討会議において、多様な意見が聞ける等良かったとの意見があった。所内勉強会により委託しているプランの適正化、担当者によって対応に違いがあることなどに対して、適切な助言等が行えるようになってきている。</p> <p>(大) 大泉ほっと・ケアマネットの開催においては、地域の主任介護支援専門員を企画、運営の主体にして、本所、支所はそのバックアップを行っている。研修の企画にも参加してもらっており、主任介護支援専門員については、連携の強化やスキルアップにもつながっている。また、地域の介護支援専門員についても、事例検討会に取り上げる事例の提供を促したり、グループワークに参加していただくことで、資質向上を目指している。</p> | | <p>(練) 圏域のケアマネジャーの資質および専門性向上を図るため、「けあまねりま」や地域の主任ケアマネ会の開催を通じ、研修の開催や事例検討等に積極的に取り組んでいることが確認できた。</p> <p>(光) 圏域のケアマネジャーへの指導に関して、詳細な記録を作成しており、支援に活かされていることが確認できた。また、ケアマネジャーからの相談の統計を取るなど、支援力の向上に努めていることも評価できる。</p> <p>(石) センターが主催するケアマネジメント給付検討会議の開催を通じて、圏域内ケアマネジャーへの支援が行われており、支援を受けたケアマネジャーからも高評価を得ていることが確認された。</p> <p>(大) ケアマネジャー支援として運営している「大泉ほっと・ケアマネット」の開催にあたり、地域の主任介護支援専門員を企画、運営の主体とするなど、圏域のケアマネジャーとの協働体制が構築されている。</p> | | | <p>(練) 高齢者相談センター支所および居宅介護支援事業所の介護支援専門員、主任介護支援専門員については、業務量が多く、期待されている役割も大きいため、業務のあり方等について必要に応じた見直しが必要である。</p> <p>(光) 自立に向けたケアプランの作成支援としての、ケアプランチェックを全ケース実施しなければならない。だが、600件の居宅委託ケースを面談ですべて実施することは不可能であるため、ケアプラン内容を確認時に、より自立できる可能性を検討したほうがよいプランを抽出し、支援を行っていくことを検討している。</p> <p>(石) 介護支援専門員に対しては、主任介護支援専門員の活動支援を通じて定期的に研修を開催しているが、ネットワーク構築の面でさらなる取り組みが必要である。</p> <p>(大) 地域の初任者の介護支援専門員をすぐに把握するのが難しく、何に困っているのか、悩みの共有等が課題である。困った時に丁寧な対応が必要であり、大泉ほっと・ケアマネット等で、さらなる情報発信が必要である。</p> | | <p>(全所共通)</p> <p>①ケアマネ連絡会や事例検討会に出ている介護支援専門員等のメンバーを把握するとともに、新規のメンバーが参加しやすい環境作りを図ることが期待される。</p> <p>②課題にあげている来年度以降の地域でのケアマネ支援事業について、運営主体の検討が必要である。</p> | | | |

| 4 権利擁護業務 | 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | | |
|---|---|----------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | | |
| | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | |
| (1) 成年後見制度活用に向けた取組を行っている。 | | | | | | | | | | | |
| | ・多角的な視点から高齢者の判断能力や生活状況等を把握し、成年後見制度を利用する必要性を判断しているか。 ※多角的な視点から把握、判断していることが確認できれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| (2) 高齢者虐待防止に向けた取組を適切に行っている。 | | | | | | | | | | | |
| | ・相談、通報から48時間以内に事実確認として本人の状況把握を行っているか。 ※概ね48時間以内に対応していれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | ・虐待の認定がされたケースについて、モニタリングを行っているか。 ※モニタリングを行っていることが記録上確認できれば「適」 | 個別ケース記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | ・高齢者虐待防止に向けた啓発活動を行っているか。 ※啓発活動を行っていることが記録上確認できれば「適」 | 実施記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| (3) 消費者被害防止に向けた取組を適切に行っている。 | | | | | | | | | | | |
| | ・消費者被害の連絡を受けた場合、関係機関（警察、消費生活センター等）と連携し、対応しているか。 ※関係機関と連携して対応していることが記録上確認できれば「適」 | 情報提供シート等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | ・消費生活センターと定期的に情報交換を行っているか。 ※定期的な情報交換をしていることが記録上確認できれば「適」 | 会議記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | ・消費者被害防止を目的として、関係機関（支所、ケアマネ、訪問介護事業者、民生委員など）への情報提供を行っているか。 ※関係機関への情報提供が記録上確認できれば「適」 | 情報提供シート等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 評価できる点 | | | | | 改善が必要な点 | | | | | | |
| 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | |
| <p>（練）高齢者虐待防止法の施行以来、区民・事業者の高齢者虐待防止への認識が高まった結果、通報・届出が増加傾向であるが、地域のセンター支所とともに、被虐待者への支援や事実確認を迅速に対応している。また、事後のモニタリングについても支所と役割分担するなど、虐待事案の終息に向け継続支援にあたっている。</p> <p>（光）マニュアルに沿って事実確認やコア・メンバー会議を行っており、支援方針の確認を行政とともにし、虐待解消に向けて活動している。モニタリングに関しても虐待の判定レベルに合わせて実施しているが、虐待が解消されるよう、モニタリング時以外にも支援を行い、早期に介入を実施している。また、地域事業所の研修としての会議において、高齢者虐待防止の知識を伝える機会を持つこともできた。</p> <p>（石）成年後見制度の利用に関しては、多職種と連携して本人について考える場があり、そこで生活全体を考えることにより多角的な視点から把握・判断が出来るようになった。後見人等が決定した後も、本人が安心して生活ができるように、協力体制が構築されている。</p> <p>（大）高齢者虐待防止の対応としては、定期的に区の高齢者支援係との合同会議を開催するとともに、虐待対応のモニタリング会議を開催することで連携を強め、情報共有や対応の確認を行っている。また、福祉事務所内における他係との連携も円滑に進めることで、虐待や消費者被害などの防止を図っている。</p> | | | <p>（練）高齢者虐待防止への対応については、専門職を中心に一連の流れが適切に行われており、地域の事業者や支所と連携を図りながら、コア・メンバー会議等における事例検討の充実に向けた取り組みが確認できた。</p> <p>（光）地域の介護サービス事業所における会議等において、高齢者虐待の防止に関する取り組みについて情報提供を行っていることは高く評価できる。</p> <p>（石）成年後見制度の活用について、センター内で十分な検討を行うとともに、後見人等が決まった後も、適切に支援していることが確認できた。</p> <p>（大）高齢者虐待防止に向けた取り組みの中で、行政との連携を強化するなど、業務経験の蓄積に伴い、組織対応能力が向上していることが確認できた。</p> | | | <p>（練）高齢者虐待の防止等の啓発活動については、平成29年3月23日付けで厚生労働省より対応の強化について通知が出されており、早期発見へのさらなる取り組みが必要である。区の通報窓口の周知徹底や研修等の実施によるさらなる対応力の強化が求められている。</p> <p>（光）本所・支所の権利擁護（特に後見）への支援について法律を十分に理解し、実践的な助言を行える職員が少ない。社会福祉士だけでなく、多職種でも支援を行うことができるよう、担当者会議の充実を図る必要がある。</p> <p>（石）消費者被害の連絡を受けた際の個別対応を行なうためのツールを作成し、個別対応の充実を図る必要がある。被害を受けた後の支援がほとんどであったため、消費者被害防止について、地域関係機関等への啓蒙活動の強化も必要である。</p> <p>（大）虐待対応や困難ケース対応については区の高齢者支援係とも連携し、対応の流れも把握できるようになっているが、個別ケースの支援（金銭管理、やむを得ない措置、面会制限等）において、行政が主導で対応した方が望ましいと思われる内容についてもセンター職員が行っているケースもあり、行政と包括との役割分担の明確化が必要である。</p> | | | <p>（練）消費者被害防止への情報提供について、センター本所・支所での情報共有を図っていることは確認できたが、外部のサービス事業者への情報提供にまで至っていないため、サービス事業者や区民への普及啓発の実施が求められる。</p> <p>（光）高齢者虐待防止、消費者被害防止に向けた取り組みについて、区民やケアマネジャーへの情報提供のさらなる充実が求められる。</p> <p>（石）高齢者虐待の防止や消費者被害防止への情報提供について、センターとして主体的に行った活動が確認できなかったため、改善が求められる。</p> <p>（大）高齢者虐待の対応については、区の高齢者支援係との役割分担が不明確であり、センター業務以上のことを行っていることが懸念される。今後事故につながらないように注意が必要である。</p> | | |

| 5 在宅医療・介護連携の推進 | 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | | | |
|--|------|------------|---|-----------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--|--|--|---------------------------------------|-----------------------------|
| | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | | | |
| | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | | |
| (1) 圏域における医療機関・介護サービス資源を把握している。 | | | | | | | | | | | | |
| ・医療機関、介護サービス資源の最新情報をリスト化しているか。 ※リストがあり、更新していることが確認できれば「適」 | | サービス事業者一覧等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| ・リストを支所と共有しているか。 ※支所と共有していれば「適」 | | サービス事業者一覧等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 不適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| (2) 在宅医療・介護連携システムを構築している。 | | | | | | | | | | | | |
| ・「在宅医療と介護の相談窓口」を関係機関に周知しているか。 ※関係機関に周知していることが確認できれば「適」 | | 周知記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| ・医療機関、介護サービス事業者を対象に、在宅医療・介護連携に関する研修（多職種連携研修、コーディネーター研修等）を開催しているか。 ※研修の実施が確認できれば「適」 | | 研修記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| 評価できる点 | | | | | 改善が必要な点 | | | | | | | |
| 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | |
| <p>（練）医療機関との連携について、ひとり暮らし高齢者および高齢者のみ世帯が多い地域特性を踏まえ、入院中から病院との連携を積極的に行うとともに、病院退院時には、退院時のカンファレンスに参加し退院連携を行うなど、医療と介護の連携に積極的に取り組んでいる。</p> <p>（光）認知症地域支援推進として認知症支援を行っている方々の横断的な情報共有の会議を開催した。内容は地域型認知症疾患医療センターの情報提供や支援での困りごとなどを話す機会を持った。継続的な実施を検討しているが、夜間の会議であることなど業務量の負担が大きい。</p> <p>（石）石神井圏域の保健師会を年10回開催した。今年度東京都若年性認知症相談支援研修に参加して、その内容について、保健師会で伝達講習を行なうことができた。あわせて、石神井圏域の医療機関等のリストの電子化により、支所と情報共有を図っている。</p> <p>（大）圏域内支所の医療職との定期的な連絡会を開催し、情報共有や地域課題等についての話し合いを行っている。また、積極的に外部研修や医療機関との勉強会、運営推進会議等に参加することで、ネットワークの構築や医療と介護の相談窓口の周知が進んでいる。窓口担当として指名されて相談を受けることも増えていることや、銀行、郵便局等の地域の関連機関との連携も取れるようになってきている。</p> | | | <p>（光）在宅医療・介護連携システムの構築において、センターとして主体的に研修等を行っている点について評価できる。</p> <p>（大）自己評価の改善が必要な点として、社会資源のマップ化について記載されており、地域の社会資源把握に関する意識の高さが確認された。</p> | | | <p>（練）高齢者相談センターで行っている「医療と介護の相談窓口」について、区民へのさらなる周知が必要である。</p> <p>（光）センターの業務を行うとともに、支援者の支援について検討する会議等を行うにあたり、時間の確保が難しいため改善が必要である。</p> <p>（石）①伝達講習はできたが、個別の事例検討を行なうことができなかったため、保健師会開催時に事例検討の時間を設け、支援方法等を確立していく。②新規開設事業所の把握を行ない、適宜リストを更新し最新リストで情報共有していく。</p> <p>（大）①大泉地域の資源把握について少しずつ進めてはいるが、今後は更なるリスト化や支所で実施しているマップ化を進めると、より視覚で捉えやすくなる。②医療と介護の相談窓口としての対応として、関連機関等との連携が進んだことで支援がスムーズにはなっている一方、支援後の共有や連携、振り返りに対する取組が必要である。</p> | | | <p>（練、石 共通）医療と介護の相談窓口について、区民や介護サービス事業者等への周知に関するセンター独自の取り組みが確認できなかった。また、在宅医療・介護連携の研修については、事例検討会等に参加していることは確認できたが、センターとして主体的に研修等を開催することが求められる。</p> | | | |

| 6 認知症施策の推進 | 評価項目 | 根拠資料・記録等 | 評価結果 | | | | | | | | | |
|---|------|----------|--|-----------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------|---|-----------------------------|---------------------------------------|-----------------------------|
| | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | | | |
| | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | | |
| (1) 認知症物忘れ相談事業を適切に行っている。 | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 認知症物忘れ相談を年9回行っているか。 ※認知症物忘れ相談を年9回行っていることが確認できれば「適」 | | 相談記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| <ul style="list-style-type: none"> 認知症物忘れ相談からその後ケアにつなげたケースがあるか。 ※その後のケアにつなげたケースが確認できれば「適」 | | 相談記録等 | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 不適 <input type="checkbox"/> |
| 評価できる点 | | | | | 改善が必要な点 | | | | | | | |
| 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | |
| <p>（練）認知症対策に向けた取り組みとして、物忘れ相談事業を実施しており、支所や地域の介護支援専門員との連携のもと、認知症に関する様々な相談に対応している。あわせて、認知症初期集中支援チームによる訪問相談（アウトリーチ）の実施や、地域連携型認知症疾患医療センターとの連携も進んでおり、地域における認知症高齢者への支援体制の構築と認知症ケアの充実が図れている。</p> <p>（光）認知症に関する相談会を有効に活用するため、支所からの認知症支援の相談を、相談会へつなげるなどの配慮を実施した。また、アウトリーチや関係者会議の場としても活用し、医師の助言が活用できるよう支援した。認知症の支援者へのアプローチや中部精神保健福祉センターの利用事例も年間2件あり、認知症の方への支援を幅広い機関とともに実施した。</p> <p>（石）認知症物忘れ相談事業は、定期開催のため年間日程表を作成し、各支所に日程表を配布し、石神井保健師会、本所・支所連絡会で近々の相談日を案内することで、支所からの相談依頼が増えた。支所職員が物忘れ相談に同席することで、相談内容の把握が正確になり、また、医師の説明等を直接聞き、具体的な支援につなげることができている。</p> <p>（大）物忘れ相談事業については、昨年度から物忘れ相談医の変更もなく、連携を強化することができている。医師との相談や支援体制もスムーズに進められており、初期集中支援チームとしての連携も取りやすくなっている。また、物忘れ相談に相談者の担当地域支所職員の参加も得られており、相談者に対する支援体制も整えることができている。</p> | | | <p>（全所共通） 認知症物忘れ事業については、本所職員のみならず、支所職員や地域のケアマネジャー等との連携が図れており、認知症高齢者への支援が着実に機能していることが確認できた。</p> | | | <p>（練）認知症物忘れ相談事業について区民へのさらなる周知が必要である。</p> <p>（光）相談者数にもよるが、アウトリーチの機会を増やすことも必要である。</p> <p>（石）最初の相談（電話・来所）の聞き取りで、物忘れ相談対象者か、支援につなげる必要のある相談か、高齢者一人ひとりに適した支援を行なうために、聞き取るツールを作成することが必要である。</p> <p>（大）物忘れ相談後のモニタリングを実施しているが、振り返りの方法に検討が必要となっている。事業の利用により良い効果を得られているものの、情報がセンター内でとどまっている部分も多いため、事業の取組について発表できるような場があると良い。</p> | | | <p>（全所共通） 認知症物忘れ相談については、医師の確保等の関係から事業量の増には限界が認められるが、相談を利用できない方を医療と繋げる工夫が必要であるため、他の事業と連携するなど、さらなる充実が求められる。</p> | | | |

| 評価項目 | | 根拠資料・記録等 | | 評価結果 | | | | | | | |
|---|--|----------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 7 地域ケア会議の推進 | | | | 練馬 | | 光が丘 | | 石神井 | | 大泉 | |
| | | | | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 | 自己評価 | 事業評価 |
| (1) 地域ケア個別会議の開催を適切に支援している。 | | | | | | | | | | | |
| ・支所が開催する地域ケア個別会議の準備支援を行っているか。 ※地域ケア個別会議の準備支援を行っていることが確認できれば「適」 | | 準備会記録等 | | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・圏域の支所の地域ケア個別会議に参加をしているか。 ※圏域支所の全地域ケア個別会議に参加していることが確認できれば「適」 | | 会議資料等 | | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| (2) 効果的に地域ケア圏域会議を開催している。 | | | | | | | | | | | |
| ・地域ケア圏域会議を年2回開催しているか。 ※地域ケア圏域会議を年2回開催していることが確認できれば「適」 | | 会議資料等 | | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| ・地域ケア個別会議の結果を集約し、地域の課題を検討できているか。 ※地域ケア個別会議の結果を集約し、地域の課題を検討できれば「適」 | | 会議資料等 | | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> | 適 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 評価できる点 | | | | | | 改善が必要な点 | | | | | |
| 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | | 地域包括支援センター（自己評価） | | | 評価委員会（事業評価） | | |
| <p>（練）地域ケア圏域会議について、平成28年度は、地域ケア個別会議により抽出された高齢者の居場所づくりをテーマに実施した。高齢者の居場所について自分のこととして考え、現状どこにあるのか、こんなところがあつたらいいなという場所について、支所単位のグループワークで検討し、地域診断を行った。また、話し合いの中で、よりローカルな寄合場所などの情報も得られ、グループ内で情報を共有し、地域資源の把握を行うことができた。</p> <p>（光）各支所より抽出された課題を圏域で再検討するためにグループワークによる圏域会議を実施した。グループワークでは地域資源を意識した内容を検討し、地域づくりを参加者が検討できるような手法をとった。現時点では多職種が話し合う場が少ないため、今年度も多職種がまず、共通の認識を持つことができるような会議を開催していくことを検討している。</p> <p>（石）地域ケア圏域会議の開催にあたっては、事前にアンケート調査等を行い、会議のテーマについて検討を行っている。また、石神井圏域の主任介護支援専門員連絡会の協力を得て、地域の介護サービス事業所や関係機関の出席のもと、地域課題の解決にむけた検討を行っている。テーマ設定についても、一度きりではなく継続的に取り組めるテーマの設定を心掛けた。</p> <p>（大）各支所で開催している地域ケア個別会議については、センター内で担当職員を決め、事前の打合せから会議当日まで必ず参加し、会議開催の支援を行うことができています。地域ケア圏域会議については、地域の様々な関係者によるグループワークを実施し、地域づくりや必要な社会資源、区への政策提言について検討するための話し合いを行うとともに、ネットワークの強化にもつなげることができています。</p> | | | <p>（練）地域ケア圏域会議については、年2回、同一のテーマに沿って継続的に実施しており、社会資源の把握や地域課題の抽出など、地域づくりに向けた取り組みが計画的に行われていることが確認できた。</p> <p>（光）地域ケア圏域会議の開催にあたっては、地域包括ケアシステムの推進を念頭に、会議で把握された課題について、その後の地域づくりの取り組みの必要性を認識していることが確認された。</p> <p>（石）地域ケア圏域会議の開催については、事前にアンケート調査を実施テーマを検討するとともに、開催にあたっては地域の主任ケアマネジャーの協力を得るなど、地域との連携を意識した取り組みを行っていることが評価できる。</p> <p>（大）地域ケア圏域会議の内容について、常に地域包括ケアシステムの推進を念頭に置き、地域福祉の向上を意識したテーマ設定に取り組むとともに、地域課題の把握に取り組んでいることが確認できた。</p> | | | <p>（練）地域ケア圏域会議において地域ごとの社会資源を見える化し、活用できるようにしていくためには、進捗管理をどのようにしていくか課題である。</p> <p>（光）アンケートの中では積み重ねがないとあったが、個別会議の内容を再度圏域で話し合い、地域の課題を圏域会議へあげるよう、支所会でも話し合いを行ったうえで、推進会議への提案をしている。圏域会議の内容をより濃いものとするためには会議の開催頻度を上げ、参加者を限るなどの条件を必要とすると思われる。また、地域の区民を呼び寄せる場合、議題が専門職の内容とすりあわないこともあり、圏域で行うスケールメリットをどのように活用すべきかを迷うこともある。個別の地域色の濃い問題検討は支所で行うべきであり、圏域会議の果たす役割はネットワーク中心になってしまうことも否めない。これらを4圏域で同様に実施する事ができるよう、方針の決定の話し合いが必要である。</p> <p>（石）前回第二回目の開催が3月と遅かった為、早めの開催予定を計画したが開催が出来なかった。一方的な開催予定ではなく支所の地域ケア個別会議予定についても確認をしたうえで開催をする必要がある。</p> <p>（大）①地域ケア個別会議を開催する事で、地域課題の抽出や地域のネットワーク構築につながっており、とても良い効果を得られているものの、その内容や効果、共有できた情報等については、地域ケア個別会議の参加者のみでとどまってしまう。どのように地域に発信していくかが課題となっている。</p> <p>②地域ケア圏域会議の参加者について、様々な関係者が集まっていたり一方、地域の関連機関や身近な関係者へのさらなる周知や参加の案内を行うことが必要である。</p> | | | <p>（全所共通）</p> <p>①地域ケア圏域会議については、適切に実施されているが、成果の見える化等が期待される。</p> <p>②地域ケア会議については、会議の質の向上を図るため、開催時期の早期の周知や、これまで参加のない他機関への呼びかけを行うなど、運営方法の充実が求められる。</p> | | |